

令和7年4月1日

保護者各位

感染症による出席停止について

那覇市立小緑南小学校

医師の診察により下表の疾病と診断された場合は、学校保健安全法により、他の生徒に感染させるおそれなくなるまで出席停止となります。(欠席にはなりません)

感染症によって、登校再開時に必要な提出物が異なりますので下記をご確認ください。

記

	病名	登校再開時に必要な書類
第1種	エボラ出血熱、ラッサ熱、特定鳥インフルエンザ、ジフテリア、ポリオ他	登校許可証明書 (医師による証明)
第2種	百日咳、麻しん(はしか)、風しん(三日はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘(水ぼうそう)、咽頭結膜熱(プール熱)	罹患報告書 (保護者による報告)
	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)	インフルエンザ経過報告書 (保護者による報告)
	新型コロナウイルス感染症	— (証明書不要)
	髄膜炎菌性髄膜炎、結核	登校許可証明書 (医師による証明)
第3種	腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、コレラ、腸チフス、パラチフス、その他の感染症	登校許可証明書 (医師による証明)

※ 上記の第1種～第3種の分類は、学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症の種類による

下記の出席停止期間の基準は、文部科学省発行「学校において予防すべき感染症の解説」より抜粋

	病名	出席停止期間の基準	登校再開時に必要な書類
第1種	エボラ出血熱、ラッサ熱、 特定鳥インフルエンザ、 ジフテリア、ポリオ他	治癒するまで	登校許可証明書 (医師による証明)
第2種	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適切な抗菌薬治療が終了するまで	罹患報告書 (保護者による報告)
	麻疹(はしか)	発しんに伴う発熱が解熱した後3日を経過するまで	
	風しん(三日はしか)	発しんが消失するまで	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	
	水痘(水ぼうそう)	全ての発しんがかさぶたになるまで	
	咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後2日を経過するまで	インフルエンザ 経過報告書 (保護者による報告)
	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められるまで	
結核	症状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められるまで(抗結核薬の予防投薬は出席停止に該当しない)		
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められるまで	登校許可証明書 (医師による証明)
	流行性角結膜炎		
	急性出血性結膜炎		
	コレラ		
	腸チフス		
	細菌性赤痢		
	パラチフス		
	その他の感染症(感染性胃腸炎、マイコプラズマ等)		